

# 星屑

1997 Feb.  
No. 263



熊本県民天文台

864

## COMET PAGE

Jan. 1997

by Porco Nisse (KCAO)

このページは、1996年12月に観測した彗星の紹介です。

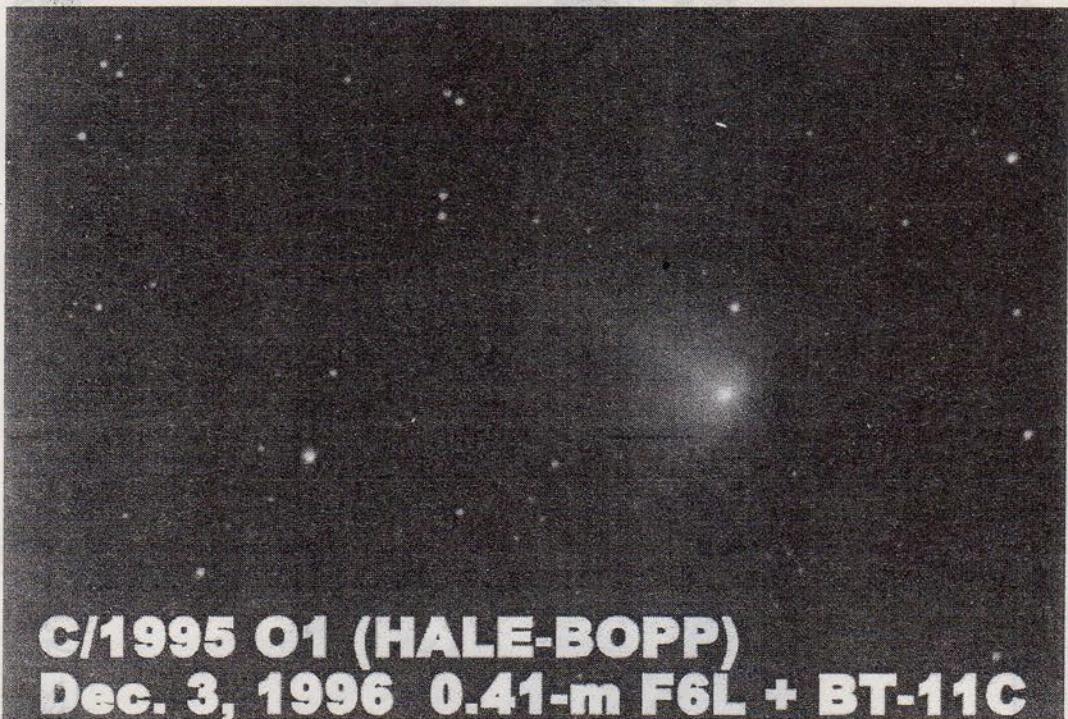
12月の天候は、熊本の冬としてはまあまあの天気でした。おかげで夕空低くに、光度が3等台になったC/HALE-BOPPを23日まで追跡できました。下旬も晴天が続きましたが、透明度が極端に悪く朝の低空に観測できないまま年は暮れしました。さてさて、次回はどんな姿を見せてくれるか、とても楽しみです。

★C/1995 O1 (HALE-BOPP)

## C/HALE-BOPP

Dec. 15, 1996

▲ 夕焼け空のヘル・ボップ彗星 BT-11C 30秒露



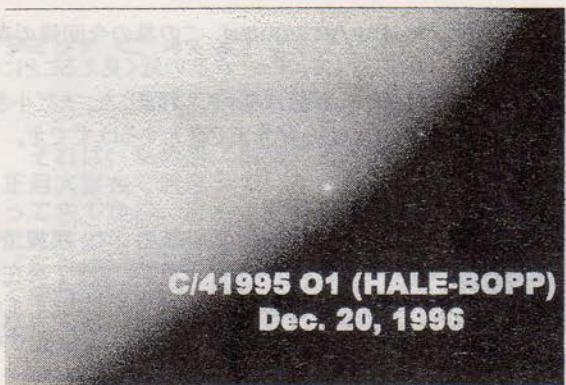
**C/1995 O1 (HALE-BOPP)  
Dec. 3, 1996 0.41-m F6L + BT-11C**



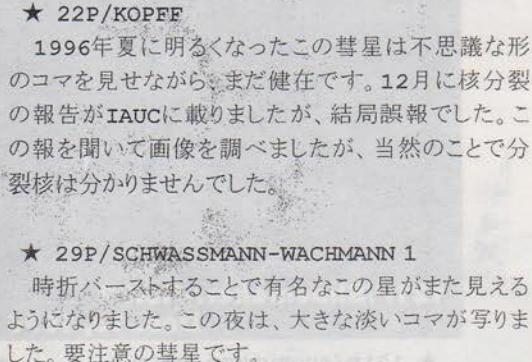
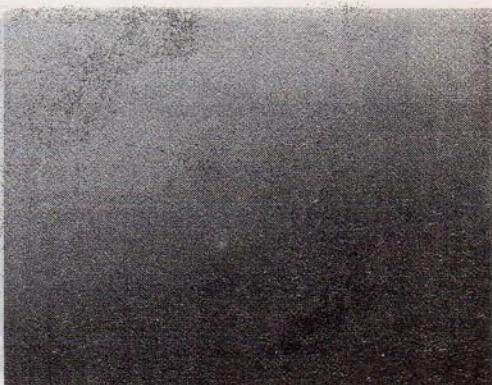
C/1995 O1 (HALE-BOPP) Dec. 6, 1996

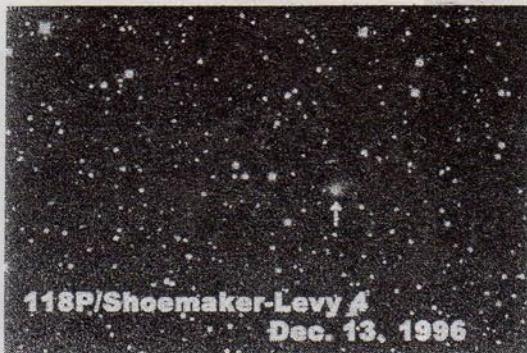
**C/1995 O1 (HALE-BOPP)  
Dec. 14, 1996**

どんどん観測条件は悪くなる中でも、CCDではちゃんと写ります。銀塩フィルムではとても写せない状況下でした。

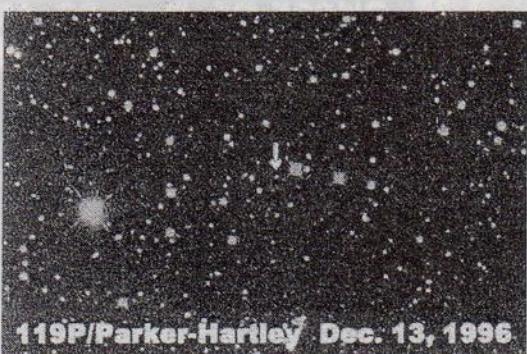


この2枚の画像には観測所のすぐ西の木立が写っています。右下の暗い部分が木立の影です。

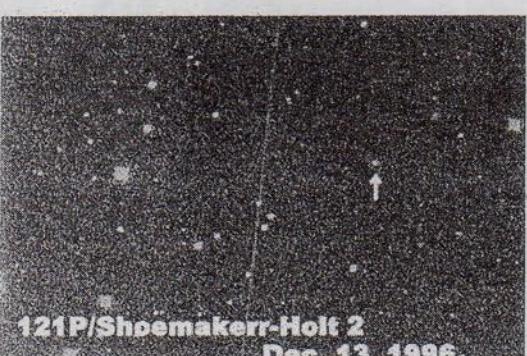




★ 118P/Shoemaker-Levy 4  
Dec. 13, 1996



★ 119P/Parker-Hartley Dec. 13, 1996



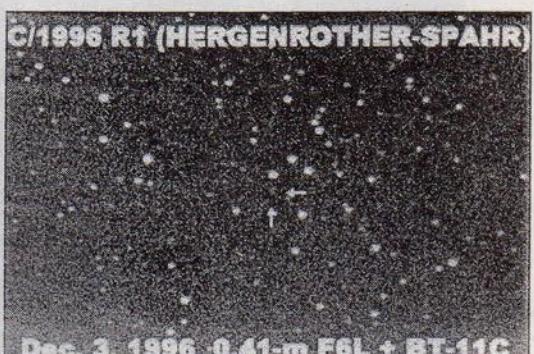
★ 121P/Shoemaker-Holt 2  
Dec. 13, 1996

★ 46P/WIRTANEN この星の今回帰の条件はあまり良くなくて、ずっと夕空の低く見えることになりますが、きちんと明るくなってくれました。まだ小さい姿ですが、これから春先まで増光するはずです。

★ 81P/WILD 2

今、一番元気な短周期彗星です。眼視でもよく見えるひきしまったコマをみせています。現在12等級ですが、近日点通過は1997年5月でまだまだ明るくなります。観測条件も良いので楽しみな星です。

★ C/1996 R1 (HERGENROTHER-SPAR)



C/1996 R1 (HERGENROTHER-SPAR)

Dec. 3, 1996 0.41-m F6L + BT-11C

★ 119P/PARKER-HARTLEY

このほか、暗くて CCDカメラでなければ KCAOではとても手のでない星もたくさんあります。ここに、それらの画像を紹介しましょう。どれも小さくて、これだよと言わなければ画像のシミと間違えてしまいそうな姿ですが、これでも立派な彗星なのです。。

118P, 119P, 121P, 126Pはどれも近年見つかった短周期彗星で、今回が初回帰となって周期彗星番号がついた星たちです。

C/1996 R1と C/1996 P1は、昨年秋に発見された新彗星で、これはその後の姿です。

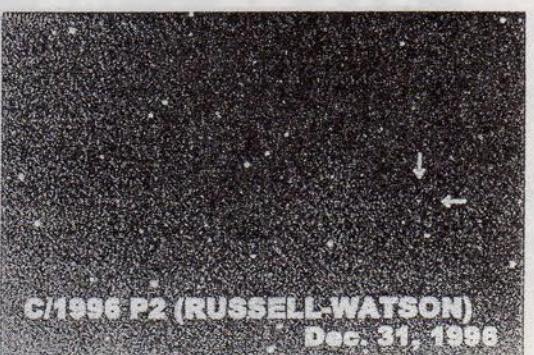
★ 121P/SHOEMAKER-HOLT 2

★ 126P/IRAS

★ C/1996 P2 (RUSSELL-WATSON)



126P/IRAS  
Dec. 3, 1996  
0.41-m F6L



C/1996 P2 (RUSSELL-WATSON)  
Dec. 31, 1996

## 天がくれたこれでもないお年玉！！

1月1日早過ぎに、天文台付近を雷が直撃！！ 大被害！！

中島 尚

それは、私の家（城南町で天文台の近く）に某N尾君が毎年恒例の、大晦日から朝まで正月大宴会で居座っていたときのことでした。やっと起きて雑煮を食べ、初詣に行って帰ってきてから、なんと新年早々某N尾君の初代X aにWin95を再インストールしていました。遠くでごろごろという音がしてきたではありませんか。「これはいかん。雷だ。電源を抜け！！電話線もはずすぞー！！！」と喚きながら、大慌てでやっていると、突然「どっかーん」という大きな雷の音が聞こえました。それが、まさか天文台に落ちたものなどということは夢にも想像していませんでした。

そして2日の夜。小林寿郎さんから電話があったのが午前1時過ぎ。

「おい、電気がきとらんぱい。電話線の基が燃えとるバイ。どげんすっとな！」  
そういうわけでも、この時間にどうしようもないに決まっているではありませんか！！

そこで、次の日に九州電力とNTTに電話し、見に来て貰いました。すると、電話回線は2本とも使用不能で、修理して貰うことになりました。ところが電気はなんと、天文台に元々来ていないことが分かりました。天文台の電気は隣接する歴史民俗資料館から地中埋設で配線されています。そこで、今度は町役場に電話をし、担当者に来ていただきました。いろいろ点検をするうちに、なんと電気の分電盤の塩ビ製のボックスが跡形もなく吹っ飛んでいることが判明しました。しかも、完全に一本の線は切れていきました。もし、あのとき人が居たらと思うとぞっとしました。これで早期の復旧は絶望的になり、とうとうTalk aboutも延期ということになってしましました。

現在仮復旧ということで、一応電気は使用出来るようになっていますが、もう一度雷対策が必要になってきました。今後の課題です。

### 今回の落雷による被害

ファックス1台、エアコン1台、調光スイッチ1台、電話回線2本、パソコン用LANボード3枚、CCDカメラ用コントロールボックス1台、同用高速転送ボード1枚、同安定化電源(3OA)1台など、その他現在調査中。



燃えた電話の差し込み



吹っ飛んだ分電盤

### そして毎年恒例の新年会

あっかりとろいてしまった  
今年の山本屋食堂の2階大広間

今年も毎年恒例の新年会が、これまた毎年恒例の山本屋食堂にて開かれました。毎年このときだけ会う人も居て楽しみになっている行事です。今年の参加は16.5人。例年と比べて多いのが少ないのか・・・。しかし、今年はとってもいい雰囲気で始まり、なんだかとても楽しく飲めました。一人一人の近況報告にもだんだん年月を重ねてきた重みが加わるようになってきました。

その中で今月号の表紙を飾っている西嶋さんの話にはみんな大きくうなずいていまし



た。それは、あの表紙の長い髪をぱっさりと切ってしまった経緯だったのです。内容は紹介できませんが、とにかくお互いの年齢を再確認させられた内容で、みんな·····。

次に印象に残ったのは、山本重信さんの話でした。山本さんは去年は阿蘇の別荘の写真でみんなの話題



相変わらずの小林さん(いくつ?)

さて、最後は宮本さんの今年での引退の話です。宮本さんは清和高原天文台に行かれてからずっと頑張ってこられましたが、今年の3月で正式に退職されることが決まったそうです。その後は悠々自適の毎日で、すでに1999年の日食の観測地を選定中で、トルコで観測したあとはエーゲ海をクルーズするという計画を温めているそうです。ますますお元気な様子に一同唸然とするやら安心するやらでした。

そのほか、小林寿郎さんのヘルルボップ彗星の報告、艶島台長の今年の抱負など色々な楽しい話が聞けたあっという間の3時間でした。

を集めていましたが、今年はその別荘の敷地内に建設中のドームの話でした。かまぼこ形のドームが建設中ということで、みんなの質問が集中しました。いつ、できあがるのか楽しみで、完成したら取材に行って来たいと思います。

表紙の平安美人は左!



来年はどれだけ集まれるか分かりませんが、みんなが集まるこの出来る数少ない会ですので、頑張って続けていきます。来年の参加をお待ちしております。

恒例の記念写真を1枚・2枚



だんだん大きくなつて···



一番遠くから参加した高田君

## 連続天文小説

「シリウスよりも輝いて」

第12話 きっかけ

小野優子

（「3日前って、手紙を渡した日では…」）

（「もし、あの手紙が悟さんを悩ませてしまったのだとしたら、それで交通事故をおこしてしまったのだとしたら…」）

そう思うと、めぐみは体中の力が抜けて、その場にへたりこんでしまった。絶望感におそわれながらも、めぐみには、悟の死がどうしても信じられなかった。

（「自分の目で確かめなくては。」）そう思い立ったときにはすでに、博物館へ向かっていた。

（「一刻も早く…」）めぐみの頭の中は、それでいっぱいだった。

自転車で20分という時間だったが、それが1時間にも2時間にも感じられるほどに。

ようやくの思いで博物館につくと、さっきめぐみに教えてくれた男の人が、博物館の前を掃除していた。

『あれ？ 君は…』

『すみません…、あの…悟さんの家の場所が…知りたいんですけど…』

息をきらしながらも、めぐみが尋ねると、

『木下さんの家ですか？ わかりますよ。でも、ここから少し遠いから、地図か何か書きましょうか。』

『お願いします。私、ここで待ってますから…』

めぐみが少し落ち着くと、男の人は博物館の中に入っていたが、2、3分もすると右手に地図を持ち、めぐみの所へ戻ってきた。

『これでわかりますか？』

少し説明を加えながら地図を渡すと、めぐみは一言お札を言い、すぐさまその場を立ち去った。

30分ぐらいいたったころ、めぐみは悟の家の近くまでやってくることができた。地図を見ながらうろうろしていると、少し古びた家から20歳過ぎくらいの女の人がでてくるのが見えたので、何気なくその家の前に行くと、「木下」という表札がかけられていた。

ここが悟さんの家だと分かると、めぐみは一息おいて、戸をたたいた。

『すみません。こんなちは…すみません。』

玄関の前で叫んでも、なかなか誰も出てこなかつた。

『…はーい』

ようやく奥の方で声がすると同時に、不安がめぐみをおそった。

ガラガラと戸が開くとそこには悟のおばあちゃんらしき人がでてきて、

『どちらさまでしょうか？』

やんわりとした口調だったので、めぐみの緊張もいささかとけて、

『あの、私、博物館のほうで悟さんにお世話に…』

『あらあら、わざわざ来ていただいて…悟も喜ぶことでしょう。さあ、あがってください。』

奥の部屋へ通されると、そこには笑っている悟さんの写真があった…。

めぐみはそれ以上話さなくなってしまい、沢木はあわてて何か言葉を探したが見つけられず、2人の間に沈黙が続いた。

『おー、寒い寒い。』

タイミングよく、岩永が入ってきた。

『あ、めぐみさん、こんばんわ。おーっ、ケーキだ、いただき一つ。』

岩永がケーキにとびつくと同時に、沢木がその場を立ち去り、2階にあがって運営の準備に取りかかった。下からは2人の笑い声が聞こえてきた。

予想以上に来客が多く、運営時間はるかにオーバーし、沢木たちが帰る頃にはすでに23:00をまわっていた。

『沢木、明日ひまだろ？めぐみさんと3人で動物園にいくことにしたからな。もちろん、おれは行かないけど。』

『えっ、それじゃまるでデートみたいじゃないか。』

と言いつつも、沢木は内心ドキドキしていた。

…デートか…

# 忘年会にてー

宮崎 直子

1996年も終わりに近づいた、12月14日、天文台の忘年会が行われました。この日は、お昼から、まず大掃除がありました。一年のアカを落とすべく、天文台の方々と天文研究会の部員で取り掛かりました。始めは終わるのだろうかと思ったりもしましたが、雑誌の整理などもし、順調に進みました。しばらくするとキレイになり、掃除をしていた中の数人が、忘年会のための料理を作り始めました。

今回のメニューは”おでん”でした。天文台のなかだけでは野菜を洗いきれず、外の水道も使いました。天文台のなかは寒かったのに、なぜかこの日の外は暖かく、ボカボカとした日差しの下、公園で遊ぶ子ども達の声を聞きながら、里芋を洗いました（でも芋は扱いにくかった）。野菜の準備もできあとは味が染み込むのを待つのみーになったと思ったところ、気が付けば鍋からおでんのつゆがこぼれており、下が水浸しになっていました。このようなアクシデントもありましたが、おでんは無事完成し、掃除もなんとか終わりました。

この日は第二土曜だったので”トークアバウト”を行い、忘年会に至りました。おでんはイイ感じにできており（特に里芋！）、大掃除で奇麗になった天文台で、二つの鍋をそれぞれ囲み、思い思いにおでんを頬張りました。昼間の大掃除の疲れも何処へやらふきとぶほどのおいしさで、あっというまにおでんはなくなりました。（その後またおでんの種をたしたけれど…）ほのぼのした雰囲気のなか、天文台の夜は過ぎてゆきました。…この忘年会の最中も天文台の運営をなさっている方もいました。本当にお疲れさまでした。

宴もたけなわーに迫った頃、他の部員と合流し、私達天文研究会は、昼と一変した寒い外へ、流星観測に出かけたのでありました。ここで忘年会も一段落つきました。（流星観測は最終日で、この日も奇麗な夜空でした。）一ほろ酔いの部員が数名いたことを付け足しておきます。

おまけですが、後でおでんは、うどんに変わり、観測で冷えきった部員を温めてくれました。



寒いです。私の部屋、暖房器具一切無し。可哀想な私。まあしかし、液体燃料が時々体の中から暖めてくれます。しかも、とってもハッピーになりますが、次の日は頭痛です。毎会懲りませんね。春が来るのが早いか、体が壊れるのが早いか、最近こんな話ばっかりのようだ。だれか、一緒に飲みません?

1月1日の昼間、天文台に雷が落ちたとか、年明け早々嵐の予感が・・・、嵐のように彗星も見えると良いですね。雨のように流星が見えるというのも良いかも!!

☆ 2月の天文現象&行事 ☆

1日（土） 下弦（04：41）

3日（月） 節分 ラッセル第4彗星が近日点通過（周期6.58年）

6日（木） くじら座ミラが極大（周期332日 2.3～10.1等）

7日（金） P/1990R2ホルト・オルムステッド彗星が近日点通過（周期6.33年）

8日（土） 新月（00：06） トーケアバウト（20：00～）

10日（月） 夕方西空で月が土星に最近（18：20）

14日（金） 上弦（17：57）

15日（土） アルデバランの食（関東以北のみ 20：37）

～16日（日） **ヘル・ポップ彗星観測会（天文台にて）**  
朝までやる予定です

22日（土） 満月（19：26）

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1997年2月号 通巻263号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-42

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ [http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO\\_TST.HTML](http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML)